



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

令和元年 12 月 12 日(木)

第 11 回東北風景街道協議会 編

東北風景街道協議会が仙台ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口にて開催されました。この協議会は東北地方へ風景街道を広め、素晴らしい景色や伝統を堪能できる街道の実現・育成を目的に実施されるものです。今回は平成 30 年度の活動報告が行われ、優れた活動を行った団体に優秀賞が授与されました。

「のしろ白神の道」では、太平山 PA 活用イベントや木製防護柵の塗装イベント、HP 等の広報活動、のしろ市民フォーラムについて発表を行いました。

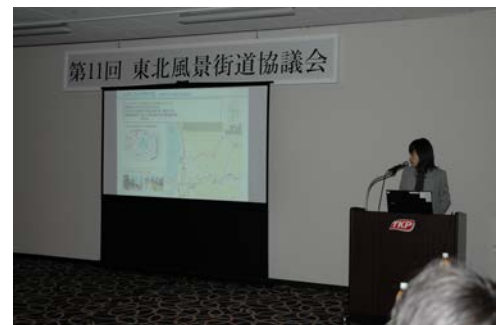
優秀賞は「ふくしま浜街道ハッピーロード」が受賞しました。全国の原子力発電所所在都道府県の高校生が集まり、原発とともに生きる地域の現状や課題を学び、未来の風景を話し合う場を設ける取り組みや、国道 6 号のいわき市新地町までの総延長 163km の区間で世界一の桜並木をつくり、地域の魅力を高めようとする取り組みで全国から植樹ボランティアを募り、全国に浜通り復興支援ネットワークが結成されているなど、地元と世界を見据え、若い世代との継続性が高く評価されました。

その他にも様々な活動が実施されており、地域の特色を活かした取り組みがありました。誘客と地場製品の消費喚起を図ることを目的に景色・文化・食を巡るサイクリングイベント「グル麺ライド 2018」という取り組みや駅前をイルミネーションで彩り、集客や地域活性化を向上させる取り組み、市・町の該当施設を巡るスタンプラリーなど報告がありました。

風景街道の主な問題点は冬期の活動が少なく、実施も困難であることです。委員の方からは、道の駅や他機関との連携を図り、活動の幅を拡大していくことが必要といった意見がありました。協議会は今年度から毎年実施される予定となり、他ルートの取り組みを学び、活動の幅が広がることに期待されています。



協議会委員 14 人のほか 8 団体から 14 人が参加しました。



「のしろ白神の道」は登録第 1 号なので活動報告も交流会の 3 分間スピーチも一番目です。



優秀賞を受賞した「ふくしま浜街道ハッピーロード」代表西本氏(右)と藤崎協議会会長(左)。



最後に出席者全員で記念撮影を行いました。

文：東 洸成